



プロキシ サーバの設定

プロキシ サーバの設定のウィンドウを使用して、SIP プロキシ サーバの設定を行います。

プロキシ サーバ設定値の設定

この項では、Cisco Unified Presence Server のプロキシ サーバ設定の方法について説明します。

手順

- ステップ 1** [Cisco Unified Presence Server] > [プロキシサーバ] > [設定] の順にクリックします。
[プロキシの構成設定 (Proxy Configuration Settings)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** [メソッド/イベントルーティングのステータス (Method/Event Routing Status)] で [オン] または [オフ] を選択します。
- ステップ 3** 表 8-1 の説明に従って、適切な [優先プロキシリスナー (Preferred Proxy Listener)] を選択します。
- ステップ 4** 設定を保存するには、ウィンドウの左上隅のツールバーに表示される [保存] アイコンをクリックします (または、ウィンドウの下部に表示される [保存] ボタンをクリックします)。

追加情報

P.8-3 の「関連項目」を参照してください。

プロキシサーバの設定値

表 8-1 で、プロキシサーバの設定値について説明します。関連する手順については、P.8-3 の「関連項目」を参照してください。

表 8-1 プロキシサーバの設定値

フィールド	説明
メソッド/イベントルーティングのステータス (Method/Event Routing Status)	このパラメータは、SIP プロキシサーバでメソッド/イベントルーティング モジュールを有効にするか無効にするかを指定します。
優先プロキシリスナー (Preferred Proxy Listener)	このパラメータは、どの SIP プロキシリスナーを優先リスナーとみなすかを指定します。ドロップダウンリストには、トランスポート リスナーのウィンドウで定義した SIP プロキシサーバのリスナーが含まれています。

プロキシサービスの再起動

Cisco Unified Presence Server の管理ページで行う変更を有効にするため、SIP プロキシサービスの再起動が必要になる場合があります。SIP プロキシサービスの再起動が必要な変更は、次のとおりです。

- システムサーバの追加、削除、または変更
- SIP プロキシサーバ設定の変更
- トランスポートリスナーの追加、削除、または変更
- TLS コンテキストおよび TLS ピア サブジェクトの追加、削除、または変更

プロキシサービスを再起動するには、次の手順に従います。



警告

プロキシサービスを再起動する間、Cisco Enterprise SIP プロキシサービスにより既存のトランザクションが停止されるため、新たな要求を受け付けることができなくなります。

手順

ステップ 1 [Cisco Unified Presence Server]、[プロキシサーバ]、[設定] の順にクリックします。

[プロキシの構成設定 (Proxy Configuration Settings)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 [すべてのプロキシサービスのリスタート] をクリックします。

ステップ 3 確認のウィンドウが表示された場合は **OK** をクリックします。

関連項目

- [プロキシ サーバ設定値の設定 \(P.8-1\)](#)
- [プロキシ サーバの設定値 \(P.8-2\)](#)

